

平成29年度 更級小学校本年度後半の取り組み

1 学習に関わって

(1) 確かな学力の定着について

○NRTや単元テスト、県教育委員会等の問題等で、実態をつかむ。(家庭との情報共有)

○各授業の中で工夫していること

〈目標・評価を明確にする……児童一人ひとりの理解をはっきりさせる〉

- ・目標(この時間に、何が分かればいいか、何が出来るようになればいいか)
- ・評価(自分の目標がどこまで出来たか、不足な内容は、どのように補足すればよいか)

○「学習のサイクル」の定着

- ・「チャレンジタイム」で行う内容の精選や充実を図り、家庭学習へ効果的につなげる。
- ・「家庭学習」の確認(内容・方法等を確実に理解させる)、家庭への連絡、評価(自己評価)を行う。

(2) 進んで学習する姿勢について

○授業での発言

- ・児童の意欲を高める問題を提示する。
- ・「自分の考えを発言したい」「友達の意見を聞きたい」等の意欲を持たせる言葉がけを適宜行う。
- ・友達の意見に対して、自分の考えを持つこと、考えの根拠をもつことを習慣化する。
- ・ペアやグループで話し合う時間を確保し、互いの考えや意見を発表し合う機会をもつ。
- ・全体での話し合いの中で、それぞれの発言のよさを認める。
- ・話し合いによって、自分の考えが深まったことを自覚する。(授業の終わりの自己評価)



自分の解き方を説明し合う(算数)

○全校集会等、大勢の前で発言する機会

※「1年間に1回以上は、全員発言する」等、学級で目標をもつことも意欲づけにつながる。

2 生活について

(1) 挨拶について

○各学級での挨拶の習慣を徹底する。

(道徳、特別活動等で重点的に扱う。)

※挨拶のよさ等を学び、意欲の喚起を図る。

○児童会の中心活動として、「あいさつ活動」を推進する。

○地域の方にも協力をお願いし、地域をあげての活動としていただく。



本に夢中になって(図書館)

(2) 読書について

○各学級の国語や図書館の時間、児童会活動で、本の紹介活動を推進する。

○親子読書のよさや実践の様子を、お便り等でお知らせする。

(3) 交流活動について

○縦割り活動や地域の方との交流活動について、お便りやHP等を通じてお知らせする。

○自分の役割を自覚し、責任を果たした喜びや楽しかった感想などを表現させる。

(4) 人権意識の向上について



6年生と手をつないで

○学級活動や教科学習の中で、自己肯定感(自分が好きである、自分に自信が持てる気持ち)を高める活動を位置づける。

○児童一人ひとり、学級・学校全体で「いじめは絶対に許さない」という意識の醸成を図る活動を継続して実施する。

○『いじめ』に関する内容を含んだアンケートを行い、実態を把握する。また、児童一人ひとりとの面談を定期的実施する。

